

目 次

◆巻頭言 建設ロボット特集に寄せて……………長谷川 幸 男/1

◆建設ロボット特集

1. 土木工事における自動化技術の展望……………常 田 賢 一/3

2. 建築工事における自動化技術の展望……………山 崎 裕
小 玉 祐一郎/10
加 藤 博 人

3. 建設ロボットの現状

3.1 建設ロボットの概況……………田 中 康 之/15

グラビヤ—建設工事前ロボット誌上展示会

3.2 各 論

ロボットジャンボ……………岡 田 番
北 原 成 郎/19

コンクリート吹付機……………浅 見 雄 三
大 竹 英 男/28

コンクリートディストリビュータ……………山 田 弘 道/32

床仕上げロボット……………梶 岡 保 夫/38

3.3 建設機械自動化アンケート調査結果……………中 島 利 美/42

◆随 想 安全屋の考えること……………津 澤 健 一/47

リピア GMR (水路建設) 工事の……………岡 田 東 平
機械設備とそのサービス対応……………石 川 泰 昭/49
南 新 和 弘

建方工事におけるラフテレーンクレーンの特性……………北 谷 栄 治/56

◆昭和 63 年度官公庁の事業概要 (2)~(5)

運輸省港湾関係事業……………染 矢 康 弘/62

運輸省空港整備事業……………井 上 優 66

日本鉄道建設公団事業……………仲 川 雅 勇/70

農業基盤整備事業……………永 嶋 善 隆/72

◆新工法紹介

三次元測量システム/RAIT システム……………調 査 部 会/78

◆新機種ニュース……………調 査 部 会/80

◆文献調査

モーリングシステムの改良/特殊アタッチメント……………文献調査委員会/83
により工事業者の難問が解決

◆ISO 規格紹介

土工機械に関する ISO 規格 (32)……………I S O 部 会/85

◆統 計

建設工事受注額・建設機械受注額の推移……………調 査 部 会/88

行事一覧……………/89

編集後記……………(酒井 浩・内山)/92

◀表紙写真説明▶

川崎ロードホールダンプ M7

川崎重工業株式会社

本機は、バケット容量 2.0m³ の坑内作業専用機で、すぐれた作業能力を有し、ザリ処理をはじめ坑内のロード&キャリに幅広く活躍している川崎ロードホールダンプシリーズの最新鋭機である。本機の特長は、

① コンパクトなボディで、車体屈折角は 45° と大きく、狭い坑道内でも大きな作業能力を発揮する

② 横向きの運転席と前後進ステアリング自動切換方式の採用により操縦性にすぐれ狭い坑内でも安全に走行できる

③ 有害排気成分の少ないエンジンを搭載し、さらにスクラバタンクを装備して排ガス処理対策も万全。

④ 全油圧前後輪独立 2 系統湿式ディスクブレーキの他にエマージェンシブレーキ装備で信頼性の高い制動システムを有している。

◀主な仕様▶

バケット容量	2.0 m ³
常用荷重	4,000 kg
エンジン出力	87 PS
全高	1,500 mm
全幅	1,600 mm
全長	6,825 mm
運転整備重量	9,700 kg